

(令和5年度当初) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 島根県 (都道府県: 島根県 )  
 本事業の担当部局名 健康福祉部子ども・子育て支援課

事業メニュー	地域結婚支援重点推進事業				
区分	一般メニュー				
関連事業メニュー	1.1.1 結婚支援センターの開設・運営、マッチングシステムの構築				
個別事業名	しまね縁結びサポートセンター運営事業	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続		
実施期間	交付決定日 ~	令和6年3月31日	事業開始年度	H28	年度
対象経費支出予定額 ※(注)1	54,941,366 円				
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2	<p>(地域における実情と課題及び本個別事業の位置付け)</p> <p>&lt;地域における実情と課題&gt;          島根県は、合計特殊出生率は全国的に上位にあるものの、婚姻数、出生数はともに減少傾向にある。(婚姻数(令和3年):2336件、出生数(令和3年)4415件)          若い世代の結婚したい、子どもを持ちたいという希望を実現するため、官民一体となった地域全体での子ども・子育て支援や、仕事と子育ての両立支援を進めているところである。県では、令和2年3月に策定した「島根創生計画」において、基本目標の2として「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」を掲げ、若い人たちが安心して島根で暮らし続け、子どもを1人、2人、3人と産み育てたいと思うことができ、その希望をかなえるための子育て支援の充実や、働きやすい環境の整備をしていくこととしている。</p> <p>&lt;本個別事業の位置付け&gt;          (1)結婚への支援          (2)妊娠・出産・子育てへの支援          を掲げており、本事業の結婚支援に係るものについては上記(1)に位置づけられる。</p>				
	<p>(本個別事業における現状と課題)</p> <p>一般社団法人「しまね縁結びサポートセンター」では、結婚支援に取り組む縁結びボランティアを「はびこ」として登録し、「はびこ」の活動支援、しまねコンピューターマッチングシステム「しまこ」の運用を中心に、結婚を望む独身者の相談に応じ、出会いのきっかけづくり等縁結び活動を行っている。</p> <p>一方で、令和3年に島根県が実施したアンケート結果では、「しまね縁結びサポートセンター」や「はびこ」、「しまこ」の存在を知っている県民(独身者)が2~3割程度と低く、認知度が低いことが問題となっている。</p> <p>また、「はびこ」に関しては、ボランティアの高齢化に伴う、担い手確保や、「しまこ」においては、女性登録者が約35%と低いことが問題となっている。</p>				
	<p>(課題への対応)</p> <p>・HP等による周知広報、チラシ配架、SNS広報など様々な媒体方法を駆使して、サポートセンター、はびこ、しまこの認知度向上を図る。</p> <p>・しまこの登録料を期間限定で通常男女ともに1万円(2年間)のところ、男性半額の5,000円、女性無料とし女性会員数の増加を図る。</p>				
個別事業の内容	番号	項目	内容	ステップアップ	KPI設定
	1	しまね縁結びサポートセンターの運営	<p>結婚希望者が結婚の希望をかなえられる環境をつくるために、しまね縁結びサポートセンターの運営として、以下の取り組みを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はびこ活動支援 「はびこ」による相談、お見合いの設定、出会いイベントの実施をより行いやすいものとするため、相談者情報システムの運用や、交流サロン支援、イベント等の周知活動、広域マッチングの推進、はびこ向けの研修・相談カウンセリング研修等を実施する。</li> <li>・しまこ運営 離島・中山間地域等に向いて、登録手続きを行う特設会場の実施や、しまこサポーターの研修等を行う。</li> <li>・出会いイベント等事業 民間事業者の開催の少ない西部地域を中心に、出会いの場の提供や結婚希望者向けのスキルアップセミナーを開催する。</li> <li>・多様な広報媒体によるPR活動 SNS等による情報発信及び広告、若年層や女性向け店舗へのリーフレットやマンガ冊子等の設置、バス広告、動画を活用したデジタルサイネージ、Youtube広告等の実施、県・市町村が持つ広報媒体等様々な広報媒体を活用し広報活動を行う。</li> <li>・企業と連携した出会いの場の提供</li> <li>・恋みくじ(メルマガ)配信 山陰両県の民間事業者や自治体、各センターが主催するイベント・セミナーの情報をメルマガ登録会員に向けて配信する。</li> </ul>	○	○

※(注)3	<p><b>【次年度以降に向けた事業の方向性】</b>  センター利用者や、結婚の希望のある独身者の声を踏まえ、事業をよりよい方向に改善すると共に、「しまね縁結びサポートセンター」の意思決定の場である、理事会や社員総会の場を発展的な意見の出る場として活用し、結婚の希望をかなえる取組を継続的に実施できる体制作りの方法等を模索する。</p> <p><b>【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】</b></p> <p style="text-align: center;">—</p>
-------	---

<b>少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標</b> ※(注)4	KPI項目	単位	目標値	現状値
	しまね縁結びサポートセンターを通じた結婚数(累計)	件	375(令和6年)	157(令和3年)
	結婚を希望する「はぴこ」の利用申込者及び「しまこ」の会員の実人数(累計)	人	1,800(令和6年)	1,860(令和3年)
	結婚ボランティア「はぴこ」の人数(累計):300人	人	300(令和6年)	260(令和3年)
<b>参考指標</b> ※(注)5	項目	単位	直近の実績	
	合計特殊出生率		1.62(令和3年)	
	婚姻件数	件	2336(令和3年)	
	婚姻率		6.8(令和3年)	
<b>個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標</b> ※(注)6	KPI項目	単位	目標値	現状値
	〈アウトプット〉			
	しまね縁結びサポートセンターを通じた結婚数(年間)	件	75	0
	結婚を希望する「はぴこ」の利用申込者及び「しまこ」の会員の実人数(累計)	人	1,800(令和6年)	1,860(令和3年)
	〈アウトカム〉			
	センター利用者の満足度(カップル成立割合)	%	30	31(令和3年)
<b>他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法</b> ※(注)7	センター認知度向上や会員数増加のため、「市町村結婚支援強化交付金」を活用する市町村は、サポートセンター事業の周知を必ず行うこととしている。また、別途チラシや広報物の設置・配架も協力してもらう。しまこの端末を設置やはぴこの活動支援を行ってもらうなど、県内一丸となって結婚希望者の希望がかなえられる環境作りを行う。			
<b>民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法</b> ※(注)8	しまね縁結びサポート企業に登録している企業を中心に、サポートセンターのチラシ配架等を行う。また、しまね縁結び応援団に登録いただいている企業等のイベント情報を「恋みくじ」というメルマガで配信する。			

(注)

1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。

2「自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け」には、次の①～③を記載すること。ただし、結婚新生活支援事業において、②③は記載不要。

①これまでの自治体における少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情・課題と、それらを踏まえた、自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け

②本個別事業が継続事業である場合はこれまでの事業実施状況及びその中で見つかった課題(新規事業である場合は不要)

③本個別事業が新規事業である場合は地域における実情と課題への対応、継続事業である場合は本個別事業における現状と課題への対応

3「個別事業の内容」には、本個別事業の具体的内容を記載すること。

※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。

※事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。

4「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、自治体の少子化対策全体のKPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体は少なくとも令和5年度終了時点で、各自治体において効果検証を実施すること。

5「参考指標」には、各自治体の合計特殊出生率、婚姻件数、婚姻率を記載すること。

6「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、自治体における少子化対策の全体像の中での本個別事業の位置付けを踏まえ、KPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体において効果検証を実施すること。

※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。

※結婚支援センター事業を実施する場合は、参考として直近年度の「会員登録数」「引き合わせ成立者数」「カップル成立組数」「成婚数」を記載すること。

7「他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を他の都道府県や市町村と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。

8「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。

## 積算内訳書

1. 地方自治体名	島根県		
2. 個別事業名	しまね縁結びサポートセンター運営事業		
	対象経費支出予定額:	54,941,366	円

## 3. 本個別事業に要する費用及びその内訳

No	経費区分	経費区分毎の内訳	総事業費		
			交付対象事業費	交付対象外事業費	
1	補助金	センター運営費 別紙のとおり	51,428,264	48,029,726	3,398,538
2	委託料	センター運営費 別紙のとおり	45,467,614	6,911,640	38,555,974
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
計			96,895,878	54,941,366	41,954,512

(経費区分ごとの合計)

区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
総事業費	0	0	0	0	0	0
交付対象事業費	0	0	0	0	0	0
区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
総事業費	45,467,614	0	0	0	51,428,264	96,895,878
交付対象事業費	6,911,640	0	0	0	48,029,726	54,941,366

(参考)上記のうち、セミナー・イベント等開催時の一人当たりコスト

(単位:円、人)

番号	セミナー・イベント 名称	所要額(X)※	参加予定人数 (a)	KPIで設定した 参加割合(b)	計算に使う人数 (Y = a×b)	一人当たりコスト (X÷Y)
1					0	0
2					0	0
3					0	0

※自治体間連携で事業を実施する場合は、総額の所要額を入力すること。

(別紙)

### 結婚支援センターの運営費内訳

自治体名: 島根県

①センターにおける運営費に係る支出額 (交付対象外経費を除く)	58,058,904
②入会金等の収入額	3,117,538
③支出ー収入	54,941,366

#### (内訳)

	経費内訳	経費区分	令和5年度 予算額	事業費 計上額	対象外	備考	
支出	使用料・ 賃借料等	事務室借上料	補助金 4,088,280				
		理事会等会議費	補助金 60,000				
		電話代	補助金 648,000			4月～1月分を事業対象として計上(540,000)	
		インターネット代	補助金 75,600			4月～1月分を事業対象として計上(63,000)	
		携帯電話代	補助金 108,000			4月～1月分を事業対象として計上(90,000)	
		NHK受信料	補助金 30,000				
		USEN利用料	補助金 52,800				
		計		5,062,680	0		
	人件費	理事報酬	補助金 309,000				4月～2月分を事業対象として計上(283,250)
		センター長人件費	補助金 5,832,000				4月～2月分を事業対象として計上(5,346,000)
		浜田所長人件費	補助金 4,134,000				4月～2月分を事業対象として計上(3,789,500)
		相談員人件費(給与)	補助金 17,587,200				4月～2月分を事業対象として計上(16,121,600) 予算額内訳183200円*8人*12月
		//(期末手当)	補助金 3,517,440				
		//(社会保険料)	補助金 3,274,656				4月～2月分を事業対象として計上(3,001,768)
		//(社会保険料期末手当分)	補助金 545,392				
		//(通勤手当)	補助金 1,152,000				
		労働保険料	補助金 274,096				
		退職手当引当金	補助金 768,000				
		健康診断料金	補助金 96,000				
	時間外勤務手当	補助金 1,536,000				4月～2月分を事業対象として計上(1,408,000)	
		計		39,025,784	0		
	企画 広報費						
		計		0	0		
	システム 経費	HPシステム保守管理料	補助金 429,000				
		HPスポット保守料	補助金 150,000				4月～2月分を事業対象として計上(137,500)
		会計システム保守料	補助金 165,000				
		会計システム保守サービス料(ソフトウェア)	補助金 154,000				
		セキュリティ対策料(Eset)	補助金 46,400				
		グループウェア(サイボウズ)利用料	補助金 105,000				
インターネット保守料(BBバック、サーバー賃借料)		補助金 471,240					
税理士業務委託		補助金 198,000					
社会保険労務士業務委託		補助金 132,000					
	計		1,850,640	0			
その他	消耗品費	補助金 624,000				4月～2月分を事業対象として計上(572,000)	
	理事費用弁償	補助金 64,000				4月～2月分を事業対象として計上(58,700)	
	職員旅費	補助金 74,400				4月～2月分を事業対象として計上(68,200)	
	光熱水費	補助金 619,200				4月～2月分を事業対象として計上(567,600)	
	複写機レンタル等	補助金 590,400				4月～2月分を事業対象として計上(541,200)	
	切手代	補助金 180,000				4月～2月分を事業対象として計上(165,000)	
	公用車関係費	補助金 1,501,800				ガソリン代は4月～2月分を対象事業として計上 ETC代は、4月～2月分(松江)4月～1月分(浜田)を対象事業費として計上(1,463,400) 予算内訳 ・公用車リース代 672,000 ・公用車任意保険料 225,000 ・公用車駐車場料金 204,000 ・ガソリン代 280,800 ・ETC 60,000(松江)+60,000(浜田)=120,000	
	振込手数料	補助金 60,000				4月～2月分を事業対象として計上(55,000)	
	新聞図書費	補助金 123,600					
	租税公課費	補助金 72,000				4月～2月分を事業対象として計上(66,000)	
	パソコンリース代	補助金 803,760					
	セキュリティルーター保守管理料	補助金 348,000					
	備品購入費	補助金 296,000			対象外		
	清掃害虫駆除費	補助金 132,000					
	メルマガ運用保守料	委託料 132,000					
	マッチングシステム運用保守経費	委託料 2,072,400				予算内訳 ・基本システム保守 1,320,000 ・お見合い管理システム保守 240,000 ・鳥取連携システム保守 240,000 ・サーバ証明書 75,000 ・ドメイン取得および更新 9,000	
	マッチングシステム経費	委託料 1,098,840				予算内訳 ・公用iPad 77,472 ・公用iPad((市町村用) 812,520 ・公用ポケットWi-Fi 90,000 (公用ポケットWi-Fiは4月～1月分(75,000円)を 対象事業費として計上) ・公用ホームルーター 118,848 (対象事業費:1,083,840)	

	はびこ関係システム経費	委託料	3,623,400			予算内訳 ・相談者管理システム保守料 2,640,000 ・スペーシングサービス 459,360 ・はびこ用ノートパソコン(市町村用) 114,840 ・はびこ用モバイルノートパソコン(サロン用) 99,000 ・はびこ用ノートパソコン(コーディネーター用) 217,800 ・はびこ用ノートパソコン(コーディネーター用) 924,000
	その他事業費等	委託料	38,540,974	2,420,000	対象外	38,540,974円 部分は、しまね縁結びサポートセンター事業費のうち対象外経費となるもの(はびこ活動費補助金や成婚記念品等) 2,420,000円部分は、個票⑥のとおり
	計		50,956,774	2,420,000		
	(交付対象外支出計)		-38,836,974			
	運営費支出計		58,058,904			
	(事業費支出計)			2,420,000		
	センター支出計		60,478,904			
収入	入会金		1,325,000			入会登録料金及び更新登録料見込み額 (登録料はすべて通常料金として換算)
	年会費					
	他自治体等からの負担金・補助金					
	県一般財源措置		1,792,538			各経費R6.2～、R6.3～費用分は県単費負担
	収入計		3,117,538	0		
経常経費(支出-収入)			54,941,366			

④申請自治体の支出額 54,941,366

(③>④の場合の経費内訳)

	経費内訳	経費区分	令和5年度 予算額	事業費 計上額	対象外	備考
支出	補助金	補助金	48,029,726			
	補助金	補助金	3,398,538		対象外	
	委託料	委託料	6,911,640			
	委託料	委託料	15,000		対象外	
	委託料	委託料	38,540,974	2,420,000	対象外	
	支出計		96,895,878	2,420,000		

※様式2-2(積算内訳書)への転記用

	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役員費
総事業費	0	0	0	0	0	0
交付対象事業費	0	0	0	0	0	0
	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
総事業費	45,467,614	0	0	0	51,428,264	96,895,878
交付対象事業費	6,926,640	0	0	0	48,014,726	54,941,366

(令和5年度当初) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 島根県 (都道府県: 島根県)  
 本事業の担当部局名 健康福祉部子ども・子育て支援課

事業メニュー	地域結婚支援重点推進事業				
区分	一般メニュー				
関連事業メニュー	1.1.3 結婚支援を行うボランティアの育成、ネットワーク化				
個別事業名	縁結びボランティア「はぴこ」広域マッチング推進事業	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続		
実施期間	交付決定日 ~	令和6年3月31日	事業開始年度	H28	年度
対象経費支出予定額 ※(注)1	2,420,000 円				
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2	(地域における実情と課題及び本個別事業の位置付け) <地域における実情と課題> 島根県は、合計特殊出生率は全国的に上位にあるものの、婚姻数、出生数とともに減少傾向にある。(婚姻数(令和3年):2336件、出生数(令和3年)4415件) 若い世代の結婚したい、子どもを持ちたいという希望を実現するため、官民一体となった地域全体での子ども・子育て支援や、仕事と子育ての両立支援を進めているところである。県では、令和2年3月に策定した「島根創生計画」において、基本目標の2として「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」を掲げ、若い人たちが安心して島根で暮らし続け、子どもを1人、2人、3人と産み育てたいと思うことができ、その希望をかなえるための子育て支援の充実や、働きやすい環境の整備をしていくこととしている。 <本個別事業の位置付け> (1)結婚への支援 (2)妊娠・出産・子育てへの支援 を掲げており、本事業の結婚支援に係るものについては上記(1)に位置づけられる。				
	(本個別事業における現状と課題) 島根県では、一般社団法人「しまね縁結びサポートセンター」を核にして、ボランティアと一体となって、結婚支援に取り組んでいる。縁結びボランティアを「はぴこ」として登録し、結婚を望む独身男女の相談に応じ、出会いのきっかけづくり等縁結び活動を行っている。 本事業では、以下の各取組を実施し、「はぴこ」のボランティア活動を活性化するとともに、新システムに適切に対応出来るようスキルアップを図り、出会いの場の拡大と成婚率の向上を図る。登録から数年が経過しても、良縁に恵まれない相談登録者も増加傾向にあり、センターが仲介する形での「担当はぴこ」の交代、あるいはセンターが直接マッチングを行うなど、マッチングの活性化が求められている。また、そのような相談登録者がいわゆる「婚活疲れ」に陥るケースも懸念されたことから、専門家によるカウンセリングを行い、相談者の良さを引き出す方策等分析している。合わせて、コロナ禍において活動の制限を強いられながらも様々な工夫をしながら相談、マッチングを行っている「はぴこ」への支援(寄り添い)、アドバイスも必要になっている。				
	(課題への対応) 1センターが広域的なマッチング会議を主催することにより、担当「はぴこ」の居住地域を超えたお相手探しの機会の拡大を図る。(東部・西部) 2テーマ別(地区別・全県、経験年数別等)に定期的な研修機会を確保し、はぴこの相談対応スキル等の向上を図る。また、対応に苦慮する相談者への接し方等について、専門家によるカウンセリングの機会を提供し、はぴこのモチベーションを維持し、継続的な活動を支援。 3全県のはぴこを一堂に集めるはぴこ集合研修を実施し、全県でのマッチング交流会、研修・セミナー等を通じてはぴこ市町村担当職員との交流の場を提供し、はぴこの身近な基礎自治体と連携した結婚支援事業の実施につなげる。				
個別事業	番号	項目	内容	ステップアップ	KPI設定
	1	サポートセンターと「はぴこ」との定期的な広域マッチング会議の実施	サポートセンターの支援により、広域でのマッチングを推進するため、各地区からはぴこ(2名程度)が出席し、地域を超えたマッチングのための情報交換を行う。高齢化が進むはぴこの負担を軽減するため、相談登録者の多い松江市での開催を主としながらも県内各所(計15回)(松江7回、出雲3回、雲南2回、浜田3回程度)で開催することで、より多くのはぴこの参加を促し、マッチングのを促進する。	○	○
2	はぴこブラッシュアップ&コンピューターマッチングシステム「しまこ」サポーター研修会の開催	「はぴこ」の相談対応スキル等の向上のため人権、個人情報漏えい防止、県内外の結婚に関する統計データ等活動に役立つ正しい知識の習得を図る。はぴこ活動は地区はぴこ会を活動基盤に行われていることから、地区単位で固有の課題の検討等を行う地区別研修会を実施する。コンピューターマッチングシステム「しまこ」のサポーターの大半が「はぴこ」を兼務していることからシステム等の研修を開催する。また、希望者には臨床心理士または社会福祉士などが相談者の対応に苦慮している縁結びボランティア「はぴこ」の相談に個別に対応する(カウンセリング)。 ・研修計画 年間8回、1回当たりの参加者数 15名	○	○	

内容 ※(注)3	3	大はびこ会開催	<p>全県の「はびこ」が一堂に会し研修や交流、情報交換を通じて親睦・理解を深め、より充実した縁結び活動の推進を目的としてはびこ集合研修(大はびこ会)を開催する。(H30以降開催実績なし)</p> <p>また、地域の実情に根ざした婚活支援には身近な基礎自治体との連携が有効であるが、近年関係性が希薄化している。大はびこ会への市町村職員の参加を促し、はびこ活動への理解と相互交流を図り、地域一体となって結婚支援事業を盛り上げていく機運を醸成する場としたい。</p> <p>・実施概要 別添のとおり、参加者数 100名</p>		○
	【次年度以降に向けた事業の方向性】 更に効果的な手法を検討しながら、引き続きマッチング支援を強化・継続していく。				
	【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】 マリッジサポーターの育成及びネットワーク構築等事業(茨城県)				
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4	KPI項目		単位	目標値	現状値
	しまね縁結びサポートセンターを通じた結婚数(累計)		件	375(令和6年)	157(令和3年)
	結婚を希望する「はびこ」の利用申込者及び「しまこ」の会員の実人数		人	1,800(令和6年)	1,860(令和3年)
		結婚ボランティア「はびこ」の人数(累計):300人	人	300(令和6年)	260(令和3年)
参考指標 ※(注)5	項目		単位	直近の実績	
	合計特殊出生率			1.62(令和3年)	
	婚姻件数		件	2336(令和3年)	
		婚姻率		6.8(令和3年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目		単位	目標値	現状値
	〈アウトプット〉				
	縁結びボランティア「はびこ」の登録者数		人	255	260(R3)
	①マッチング会議に、はびこが情報を持ち寄った相談者のマッチング数		人	250	176(R3)
	マッチング会議「はびこ」参加者数		人	240	42(R3)
	マッチング会議「はびこ」参加率		%	94	16(R3)
	②研修会「はびこ」参加者数		人	120	144(R3)
	研修会「はびこ」参加率		%	47	55(R3)
	③大はびこ会参加者数		人	100	-
	大はびこ会「はびこ」参加率		%	40	-
	大はびこ会に参加した市町村数		市町村	19	-
	大はびこ会市町村参加率		%	100	-
	〈アウトカム〉				
	②研修参加者のうち、研修内容が今後の活動に役立つと回答した者の割合(満足度)		%	90	50(R3)
	②カウンセリング参加者のうち、今後の活動に役立つと回答した者の割合(満足度)		%	90	-
③大はびこ会参加者のうち、より一層活動を充実させたいと思った参加者の割合(満足度)		%	90	-	
〈センター事業必須項目〉			91		
「会員登録数」		人	2,000	1860(R3)	
「引き合わせ成立者数」		件	2,000	1643(R3)	
「カップル成立組数」		件	600	508(R3)	
「成婚数」		人	110	124(R3)	
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	<p>「はびこ」の増員に当たっては、市町村からの直接の推薦を含め、広報等で協力を得る。</p> <p>また、「はびこ」によるマッチング支援について、連携が図られている市町村で出会いの場の設定数が増加している事例があり、別途事業化している市町村結婚支援強化交付金を活用して市町村との連携を進めていく。</p>				
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8	<p>別途事業化している「しまね縁結びサポート企業」登録企業や結婚支援コンシェルジュ事業での関係民間事業者を中心に、「はびこ」の増員に協力を得る。</p>				

(注)

- 1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。
- 2「自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け」には、次の①～③を記載すること。ただし、結婚新生活支援事業において、②③は記載不要。
  - ①これまでの自治体における少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情・課題と、それらを踏まえた、自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け
  - ②本個別事業が継続事業である場合はこれまでの事業実施状況及びその中で見つかった課題(新規事業である場合は不要)
  - ③本個別事業が新規事業である場合は地域における実情と課題への対応、継続事業である場合は本個別事業における現状と課題への対応
- 3「個別事業の内容」には、本個別事業の具体的内容を記載すること。

※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。

※事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。
- 4「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、自治体の少子化対策全体のKPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体は少なくとも令和5年度終了時点で、各自治体において効果検証を実施すること。
- 5「参考指標」には、各自治体の合計特殊出生率、婚姻件数、婚姻率を記載すること。
- 6「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、自治体における少子化対策の全体像の中での本個別事業の位置付けを踏まえ、KPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体において効果検証を実施すること。

※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。

※結婚支援センター事業を実施する場合は、参考として直近年度の「会員登録数」「引き合わせ成立者数」「カップル成立組数」「成婚数」を記載すること。
- 7「他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を他の都道府県や市町村と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。
- 8「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。

## 積算内訳書

1. 地方自治体名	島根県		
2. 個別事業名	縁結びボランティア「はぴこ」広域マッチング推進事業		
	対象経費支出予定額:	2,420,000	円

## 3. 本個別事業に要する費用及びその内訳

No	経費区分	経費区分毎の内訳	総事業費		
			交付対象事業費	交付対象外事業費	
1	委託料	①サポートセンターと「はぴこ」との定期的な広域マッチング会議の実施(660千円)	660,000	660,000	
2		【諸謝金】330,000円 はぴこ謝金 2千円×10人×15回			
3		【旅費】244,200円 はぴこ費用弁償 1,480円×10人×15回			
4		【使用料及び賃借料】85,800円 会場使用料(センター以外での開催) 13千円×6回			
5	委託料	②はぴこブラッシュアップ&コンピュータマッチングシステム「しまこ」サポーター研修会の開催(660千円)	660,000	660,000	
6		【謝金】84,150円 講師謝金 5.1千円×1人×15回			
7		【旅費】361,350円 講師旅費 8千円×1人×15回			
8		【使用料及び賃借料】214,500円 会場使用料 13千円×15回			
9	委託料	③大はぴこ会開催(1,100千円)	1,100,000	1,100,000	
10		【諸謝金】110,000円 講師謝金 100千円×1人			
11		【旅費】634,700円 講師旅費 77千円×1人			
12		【使用料及び賃借料】275,000円 会場使用料 250千円×1回			
13		【需用費】80,300円 印刷製本費 @584×125人			
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
計			2,420,000	2,420,000	0

(経費区分ごとの合計)

区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
総事業費	0	0	0	0	0	0
交付対象事業費	0	0	0	0	0	0
区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
総事業費	2,420,000	0	0	0	0	2,420,000
交付対象事業費	2,420,000	0	0	0	0	2,420,000

(参考)上記のうち、セミナー・イベント等開催時の一人当たりコスト

(単位:円、人)

番号	セミナー・イベント名称	所要額(X)※	参加予定人数(a)	KPIで設定した参加割合(b)	計算に使う人数(Y=a×b)	一人当たりコスト(X÷Y)
1	広域マッチング会議	660,000	255	94%	240	2,750
2	研修会	660,000	255	47%	120	5,500
3	大はぴこ会	1,100,000	255	40%	100	11,000

※自治体間連携で事業を実施する場合は、総額の所要額を入力すること。